

RPPCメール

リサイクルポート推進協議会

第480号(平成25年5月2日発行)

【今週号の主な内容】

■《今週の報道発表》 今週の報道発表はございません。

■《RPPC 事務局・広報部会よりお知らせ》

★情報募集

■《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 平成 25 年度第 1 回「重要港湾管理者等主幹課長会議」開催
2. 港湾分科会第 5 回事業評価部会を開催。25 年度新規に 3 港。

=====

★情報募集

《RPPC からのお知らせ》、《RPPC 会員からのお知らせ》につきまして、「会員各社の保有技術」や「会員会社主催の講習会」などの PR 等を目的として、会員各位からの情報を広く募集し、メールマガジンにて以下の募集要項に従い記載しております。

募集要項

:E-mail にて事務局まで投稿下さい。

※記事の責任者のお名前・役職とご連絡先をご記入願います。

:原稿は簡便な内容としてください。(200 字までを目安)

:写真・図表を伴う原稿は PDF ファイル形式の添付とさせていただきますが、大きなファイルサイズは配信できない場合があります。

:募集は常時受け付けています。

投稿頂いた原稿は、原則、すべて原文のまま掲載する予定ですが、広報部会と事務局により内容を確認の上、掲載することが不相当と判断される場合は、修正もしくは不採用とさせていただきます。

皆様の数多くの応募をお待ちしております。

【広報部会・事務局一同】

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 平成 25 年度第 1 回「重要港湾管理者等主幹課長会議」開催

国土交通省港湾局は4月22日、平成25年度第1回「重要港湾管理者等主幹課長会議」を開催した。26年度予算概算要求に向けた考え方やスケジュール、ならびに港湾局が進めている主要施策について各担当課が説明した。

同会議では冒頭、山縣国土交通省港湾局長が港湾行政に係る最近の動きを紹介し、「これから26年度予算概算要求への取組が始まるが、施策としてはコンテナ、バルク、防災、老朽化対策が柱になる。この中で特に国際コンテナ戦略港湾については、京浜港、阪神港に貨物をどう取り込んでいくのかが重要になっている。港湾管理者におかれては各港ダイレクトの外貿コンテナ取扱に付与しているインセンティブを、戦略港と結ぶ国際フィーダーにも同様に支援して頂き、国が進める国際コンテナ戦略港湾政策に協調して欲しい。また老朽化対策では全ての施設を維持補修するのではなく、近隣港との機能連携など広域的な視点で捉えて頂きたい」などと述べた。

【港湾空港タイムス】

2. 港湾分科会第5回事業評価部会を開催。25年度新規に3港。

国土交通省港湾局は4月24日、交通政策審議会港湾分科会第5回事業評価部会(黒田部会長)を開催した。25年度新規事業として小名浜港国際物流ターミナル整備事業、京浜港国際コンテナ戦略港湾機能強化事業、阪神港国際コンテナ戦略港湾機能強化事業の3事業について審議し、いずれも新規採択事業評価については適当である、と答申した。このうち石炭取扱いを狙いとしている小名浜港国際物流ターミナル整備事業には、その整備効果を最大限発揮するためにも港湾管理者連携、企業間連携を着実に進めて頂きたい、との意見が付けられた。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：細貝 隆司 五洋建設(株)

部会員：本野 晃郎 パシフィックコンサルタンツ(株)

徳田 英司 新日鐵住金(株)

堀江 良彰 東京都

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団(内)

担当：首藤、森谷、大矢、小高 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物(セミナーなど)の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####